

# 会報

No. **113**

平成30(2018). 10. 1

## リニューアルオープン！！ 兵庫県立図書館

兵庫県図書館協会会長・兵庫県立図書館館長 岡田 由美子

加盟館の皆様におかれましては、日頃より、地域の発展を支える重要な情報拠点として大きな役割を果たしておられることに、敬意を表するとともに感謝を申し上げます。急速に進展する高度情報化社会への対応、生涯学習のニーズの高まりへの対応などが迫られており、皆様におかれましても、利用者等から寄せられる大きな期待に対して、いろいろご苦労されていることと思います。兵庫県では、厳しい財政状況の中、行財政構造改革に取り組んでいるところでありますが、今後も県立図書館としての役割を果たしていきたいと考えています。

県立図書館は敷地面積 5,207 m<sup>2</sup>、延べ床面積 8,129.09 m<sup>2</sup>、約 65 万冊蔵書しています。昭和 49 年に開館以来、施設も老朽化していたことから、耐震補強、安全性の向上等を図るため、平成 28 年 9 月から耐震改修工事を行い、平成 30 年 7 月 1 日にリニューアルオープンしました。耐震改修後は、利用サービスの向上を図るため、書庫スペース・書架・閲覧席を増設し、また親子読書スペース・正面ロビーの来館者専用エレベーターを新設しました。



〈親子で絵本を楽しむことができる親子読書室〉

当館の特徴の一つとして、郷土資料を多く所蔵し

ており、ふるさとひょうご情報室には、兵庫ゆかりの作家コーナーや、県民が経験した阪神淡路大震災の関連資料を集めたフェニックス・ライブラリーコーナーがあります。蔵書は専門書が多く、大人の利用者が大半を占めていましたが、リニューアル後、親子読書室の新設により、お子様連れの利用者も増えています。小さなお子様がいらっしゃっても、保護者の方が気兼ねなく読書を楽しんでいただけるよう、今後も工夫していきたいと考えています。

また、主に法律、介護、医療などのテーマに沿って資料を集めた課題解決コーナーを新設しました。4人掛けの広い机を設置し、複数人で本を広げながら、ディスカッションができるスペースとなっています。



〈法律・介護・医療の本を集めた課題解決コーナー〉

今後とも、利用者への直接的サービスの実施や読書活動の振興に加えて、市町立図書館の円滑な運営を支援する「図書館の図書館」としての役割を踏まえ、図書館の本来機能である、3つのセンター機能（資料保存、調査相談、相互協力）の充実を図っていきたくと考えています。また、「利用者の調査研究の支援」、「市町立図書館等の支援」への期待に応えるべく「地域の情報拠点」を目指して運営をしていくこととしているので、なお一層のご理解とご協力をお願いします。

## 日々勉強

兵庫県立図書館

はしだて まゆみ  
橋立 真由美

平成 10 年に新採用で兵庫県立図書館に配属され、早 20 年が経ちました。この間、旧協力課やふるさと・資料課で資料の収集・整理、相互協力、郷土関係の調査相談等を経験しました。また図書館を取り巻く情勢も大きく変わりました。

そして、6月に東京で行われた図書館司書専門講座を受講しました。12日間という長丁場でしたが、演習や図書館視察等盛沢山の内容でした。「多様なサービスの提供と地域課題の解決」をテーマに、すべての人に寄り添う、様々な機関と連携する、積極的に外へ出る、図書館をPRするといった課題が発見できました。また全国の図書館司書同志の繋がりができ、実りある研修となりました。

永年勤続表彰を頂いても、まだまだ一人前とは言えず、毎日利用者から寄せられるレファレンスに悪戦苦闘しています。利用者に喜んでもらえるよう、日々勉強しながら、業務に励んでいきたいと思いません。



# 来フゥラリ〜

## 初心に帰って

川西市立中央図書館

しばた なつこ  
柴田 夏子

川西市立中央図書館で働き始めてもう 15 年になります。学生時代に資格を取ったきりで実務経験もないのに本当に勤まるのだろうかという不安もありましたが、長年の夢だった司書として働くことができるという喜びで毎日を無我夢中で過ごしていたように思います。また、幼稚園児と小学生と中学生の三人の子育て中だったため学校行事だけでもたくさんあり、家族や周りの友人にずいぶん助けられました。業務の方も毎日が勉強で、職場の皆さんには一から十まで教えていただきました。助けてもらった家族、まわりの方々には本当に感謝しています。

幼稚園児だった三男も成人し職場での経験もそれなりに積んできましたが、仕事への情熱はというとあの頃の自分には遥かにかなわないように思います。今回、振り返る機会をいただいたことに感謝し、世阿弥の「初心忘るべからず」の言葉を思いつつ、今できることを精一杯やっていこうと心を新たにしています。

## 図書館勤務を希望し続けて

尼崎市立中央図書館

やまもと みわ  
山本 美和

都市整備局の男ばかりの職場から送り出されて、希望が叶い3度目となる図書館勤務に舞い戻ってきたのが、昨年4月のことでした。

高校卒業後、事務職として尼崎市役所に入所した私にとって、幼い頃から憧れていた「本に囲まれて働く仕事」に就くまでの道のりは長かったです。市民課窓口で勤務しながら大学二部で司書資格を取得し、採用5年目に教育委員会事務局へ異動（一歩近づいた！）。その後も希望し続け、4年後ついに図書館へ。しかしながら、「ジョブローテーション」の名のもとに、他部署へも異動せねばなりませんでした。

とはいえ、「外の職場」も存外に楽しかったのです。「このままでもよいな」と思ったことも多々ありましたが、「この仕事は私でなくてもできる。でも、図書館を私ほど愛する職員は他にいない！」という信念（思い込み）がありました。

しつこく戻ってきて、表彰までして頂いたからには、図書館外で得た経験も活かして頑張っていくと改めて意を強くしています。

## 本と人と笑顔

朝来市立和田山図書館

とだ くみこ  
戸田 久美子

子どもの頃、私が静かにしていると、寝ているか本を読んでいるかだと親が話してくれました。小学校の下校時に図書室で借りた本を読むのが待ちきれず、歩きながら読み、怪我をしたこともあります。そんな私が大学卒業後、図書館で働くようになり早15年が過ぎました。社会人として未熟だった私を育ててくれたのは、先輩であり、同僚であり、そして図書館です。この機会に改めて感謝の気持ちがわいてきます。

図書館勤務が長くなると、図書館を利用する側からの目線に立ちづらく、利用者のニーズに働いている自分の思いがかみ合っているのか分からなくなります。そんな時、いつもの利用者の世間話やニュース等から勉強をさせていただくことが多く、アンテナを立てることの大切さを感じます。時代の変化に伴い、地域の人々の顔を思い浮かべながら、自分たちでできることを考え、少しずつ変化のできる図書館を目指します。

本と人と笑顔を大切に、今後も努めていきたいと思いません。

ひきつづき  
来フアリ～

## 身近な図書館に

丹波市立春日図書館 おぎの やちよ  
荻野 八千代

私は、平成15年に旧春日町公民館図書室で勤務する事になり、15年が経ちました。平成16年には氷上郡6町の合併により、丹波市立図書館の分館となりました。

ずっと同じ所で勤務させて頂き、15年を振り返ってみると、当初は蔵書冊数も1万冊余りで少なく、利用者も少なかったです。21年に春日図書館がリニューアルオープンした時に、広さも1.5倍になり蔵書冊数も今は4万冊を超えました。当時は利用者が来られても求められる資料が無く、せっかく足を運んで頂いたのに帰って頂かなければいけない事が多くありました。現在は求められる資料を所蔵している事も多く、無くても直ぐに他館より取り寄せして提供する事が出来ます。

時代とともに利用者の求められる物も変化していきます。情報を収集し、利用者の求められる情報を提供出来るようにし、利用者が図書館に来て良かったと思われるように日々精進して行きたいと思えます。

## ありがとうございますを込めまして・・・

南あわじ市立図書館 おきつ いくこ  
興津 育子

図書館職員としてのスタートは、南淡町立図書館（現南あわじ市立図書館）開館とともに始まりました。

学生時代に司書資格を取得していたこともあり、住民の役に立ちたいと思い、市合併前の旧南淡町役場に奉職し、2年目に準備室に配属、町にとって初めての図書館の立ち上げに携わることができました。

南あわじ市は、様々な興味深い歴史の舞台となってきたこともあり、歴史に関する問い合わせも多く、ほとんど！？興味のなかった郷土史ですが、利用者の方のお役に立てるよう、日々勉強の毎日です。これまであまり深刻に物事を考え過ぎずに突っ走ってきましたが、利用者の方々やボランティアの方々、そして職員の仲間に助けられ、何とかやってこられたこと、心から感謝しています。

今後は、今まで自分が得た経験や知識を後輩たちに受け継いでもらって、これからも市民の皆様に愛される図書館となり、お役に立てるよう、ベストを尽くしていきたいと思っています。



他館紹介 小野市立図書館

## 図書館でクールシェア

例年がない暑さに見舞われたこの夏、当館では、急遽、「熱中症予防と対策」「夏のスタミナ料理」などの本を展示する傍ら、「氷袋」を利用者にプレゼントしました。7月26日から8月31日までの期間、毎日15時から30分間チャック付ビニール袋に、氷を3個ほど入れたものをクーラーボックスにあらかじめ用意し、エントランスホールで配りました。気温に左右されますが、毎日約60個が持ち帰られました。

利用者からは、図書館からの意外なプレゼントへの「喜び」と体を気遣ってくれたという「感謝」の言葉をたくさんいただきました。



(小野市立図書館 和田 真由)

## 協会からのお知らせ

### 地区別研修会 (今後の予定)

#### ○神戸・阪神

「著作権」／神戸市立中央図書館／10月18日(木)

#### ○東播

「効果的な広報」／兵庫県立図書館／9月21日(金)  
(終了)

#### ○西播

「ヤングアダルト」／たつの市総合文化会館アクリアホール(たつの市立揖保川図書館)／平成31年2月28日(木)

#### ○但馬・丹波

「ブックトーク」／篠山市立中央図書館／11月15日(木)

#### ○淡路

「本の修理」／洲本市立洲本図書館／10月4日(木)



表彰者の紹介（敬称略）

永年 橋立真由美（県立）  
山本 美和（尼崎中央）  
柴田 夏子（川西中央）  
戸田久美子（朝来和田山）  
荻野八千代（丹波春日）  
興津 育子（南あわじ）                      ほか1名

平成30年度役員紹介（敬称略）

会 長 岡田由美子（県立）  
副会長 清宗 衛（県立） 笹井 徹（神戸）  
丸尾恵子（芦屋） 竹内久義（加古川）  
理 事 北 裕幸（西宮） 長谷川明子（稲美）  
谷川善彦（姫路） 片岡利夫（たつの）  
大森友子（丹波） 上田健治（豊岡）  
谷 博志（淡路） 山下裕司（議会）  
監 事 安福眞理子（尼崎） 番匠真由美（相生）

平成30年度全国図書館大会助成事業

- 西宮市立鳴尾図書館  
連続講座「小説を読む楽しみ」全5回／講師：  
土居 豊 氏（文芸評論家）／平成31年1月12日  
（土）、1月26日（土）、2月10日（日）、2月23日（土）、3月9日（土）
- 西宮市立北部図書館  
子供向け恐竜・生命史セミナー『きてみて感じる古代のひょうご』／講師：任意団体「ゆめはくネットワーク」（学芸員）／平成31年3月27日（水）
- 伊丹市立図書館 ことば蔵  
ビブリオバトルワークショップ&中学生大会／  
講師：谷口忠大氏（立命館大学准教授）／10月28日（日）
- 川西市立中央図書館  
1市2町合同読書キャンペーン「通勤・通学に1冊の本を！」（仮）／講師：未定／11月1日（木）～平成31年1月31日（水）の1ヶ月間

- 加西市立図書館  
絵本講座「絵本をたのしもう」（仮）／講師：未定  
／11月上旬～12月上旬
- 福崎町立図書館  
絵本読み聞かせ講座／講師：小栗栖 真弓 氏（姫路おはなしの会）／平成31年1月15日（火）、2月5日（火）、3月5日（火）
- 太子町立図書館  
ストーリーテリング入門連続講座／講師：芦田悦子氏（大学講師ほか）／9月7日（金）、10月5日（金）、11月2日（金）、12月7日（金）
- 丹波市立中央図書館  
平成30年度丹波市子ども読書推進講座／講師：未定／平成31年1月19日（土）、2月23日（土）

平成30年度の大会・研究集会（今後の予定）

- 第104回全国図書館大会東京大会  
「市民とともに成長する図書館－図書館専門職のカー」／10月19日（金）、20日（土）／国立オリンピック記念青少年総合センター
- 全国公共図書館研究集会  
・サービス部門及び総合・経営部門  
「超高齢社会の中で図書館の果たすべき役割とは」／11月29日（木）、30日（金）／石川県立美術館  
・児童青少年部門  
平成30年度は開催予定無し
- 近畿公共図書館協議会研究集会  
「児童サービスを振り返る～子どもと本を結ぶ意味～」／平成31年1月30日（水）／京都市生涯学習総合センター
- 文科省・図書館地区別研修（近畿地区）  
「未定」

兵庫県図書館協会会報 No.113  
平成30(2018)年10月1日 発行  
編集・発行：兵庫県図書館協会  
〒673-8533 明石市明石公園1-27  
兵庫県立図書館内  
Tel 078-918-3366 Fax 078-918-2500  
E-mail:hyoto\_hyotokyo@library.pref.hyogo.lg.jp